

子供たちの世代へ責任ある政治を!! 巣鴨小OB。豊島に恩返し。

細川正博

豊島区議会議員 細川正博(ほそかわまさひろ)・略歴

昭和53年10月、豊島区南大塚生まれ。平成23年初当選、現在4期目。

子ども文教委員長。豊島区監査委員など歴任。巣鴨幼稚園、巣鴨小学校、法政大学法学部政治学科卒。建設業界専門誌調査員として約10年勤務。

大塚三業通り商店街相談役、区空手道連盟顧問など。

ADD 豊島区南大塚1-51-17 MAIL info@hosokawamasahiro.jp

TEL 03-3945-2530 FAX 03-6774-8774



第1回定例会 2/12~3/26

区政運営の最高指針である豊島区基本構想の策定、組織条例の改正（文化商工部を分割、「文化スポーツ部」「産業観光部」を新設）、国民健康保険条例の一部改正（1人当たり保険料額の減額等）などの議案審議。

その他、公共施設更新計画や学習環境整備計画の策定、地域防災計画や地域区民ひろば構想の改定、千川中学校複合施設新設工事の再入札結果、新保健所の概要（H8.5開設）などの報告がありました。

新たな基本構想・基本計画を策定 など

子ども文教委員会では、児童福祉施設の運営等の条例一部改正の議案審議、チャレンジクラス（登校支援学級）「スリジエ」などにつき、11件の報告を受けました。



blog 2/25
子ども
文教委員会



千川中複合施設 新築工事が落札



R6.10月、R7.1月は不調でしたが、3月の3度目の入札で落札となりました。

千川中学校複合施設の開設時期は、令和10年2学期からの予定です。

資材費の高騰、技術者不足並びに都内の活況な民間再開発事業を背景にした発注環境が厳しくなったこと、などを不調が続いた原因と区は認識しています。

公共施設の更新に影響が出ないよう、今後は契約条件や設計のあり方（複雑な設計を回避するなど）などの見直しの検討が必要だろうと考えます。

東部区民事務所の 改築について



都営住宅と合築されている東部区民事務所は、建物の老朽化に伴い改築することになりました。

R7年秋ごろに仮移転。仮移転先は南大塚二丁目の都営住宅1階などを活用予定。

8年以降に現建物の解体工事、9年以降に建築工事へ入り、建物竣工まで5年前後掛かる見込みです。



予算特別委員会 3/3~3/21

予算の概要

令和7年度一般会計当初予算は、過去最大規模となる約1705.93億円（前年度+176.58億円、+11.5%）。

投資的経費は、池袋の都市再生や池袋保健所移転のため、対前年度比127億円増の375億円を計上。

新規拡充事業は、190事業、63.72億円を計上。安全・安心、教育、子供・若者の孤独・孤立対策、住宅対策等に重点。

総括質疑

細川が質疑に立ち、予算編成方法、都区財政調整交付金、起債依存度や経常収支比率、不合理な税制改正への対応、などの切り口で、財政の持続可能性について質疑しました。

款別審査

細川が質疑した項目は以下です。詳細はBlogをご覧ください。

平和と人権の尊重された社会の実現（北朝鮮による拉致問題の周知、区民相談事業の充実）/新たな区民ひろば構想/池袋保健所の開設準備等/区道の維持管理（道路陥没対策、私道助成制度の拡充）/公園・児童遊園の整備（大塚台公園改修、としまキッズパークの遊具存続の検討）/としま子ども会議/西巣鴨中地域の学校改築と小中・小小連携の充実/教育環境の整備（未改築校の設備・備品の更新、デジタル教科書活用など）/コミュニティ・スクール/図書館政策/ふるさと納税のワンストップ特例制度の問題点

令和7年度予算は賛成多数で可決



▲会派からは中澤議員、片岡議員、私の3名で審議に臨みました。



区道の維持管理（道路陥没対策、私道助成制度の拡充）

予算特別委員会で区道の維持管理について質疑しました。

埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故を受けて行った国・都・区の緊急点検の内容を確認。別件で起きた池袋での道路陥没も例に挙げ、目視だけでなく路面下空洞化調査などにより、区道で破損や空洞化のリスクが高い箇所への対応を求めました。

私道についても下水管の破損の事例が、私が把握しているだけでも複数件発生しています。私道の排水設備や舗装については、**私道助成制度**を活用することができます（条件があります）。

地権者が遠方に住んでいるなどのケースで合

意形成に時間がかかることがあります。助成制度利用のネックになる場合があります。

区から、過半数の賛同で私道助成制度が利用できるようにするなど要綱改定を検討している、という答弁がありました。要綱改定に向けて前向きな検討が進むことを望みます。

